様式

専任特例監理技術者等配置届出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　年　　月　　日

　　東松山市長宛て

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者役職

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名

　下記のとおり、専任特例監理技術者等を配置したいので届け出ます。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 専任特例監理技術者等氏名 | |  |
| 配置する工事 | 適用する特例の区分  ※いずれかに○をつける | 専任特例１号　　・　　専任特例２号 |
| 技術者の区分  ※いずれかに○をつける | 主任技術者　　 ・ 　　監理技術者 |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負予定金額 |  |
| 工事期間 | 年　　月　　日～　　　　年　　月　　日 |
| 監理技術者補佐 | ※専任特例２号の場合のみ |
| 現場代理人 | ※現時点の予定者 |
| 発注者、工事担当課所 | ※公告等に記載してあるもの |
| 既に配置している工事 | 技術者の区分  ※いずれかに○をつける | 主任技術者（ 専任 ・ 非専任 ）　・　監理技術者 |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額 |  |
| 工事期間 | 年　　月　　日～　　　　年　　月　　日 |
| 監理技術者補佐 | ※専任特例２号の場合のみ |
| 現場代理人 |  |
| 発注者、工事担当課所 |  |
| 工事担当者、電話番号 |  |
| 兼務場所　　　　　　　　　　距離　　　．　　ｋｍ　　縮尺 1 : 　　　（縮尺を記入すること）  ※専任特例１号の場合のみ | | |

注(1)本届出書は、専任特例監理技術者等の配置を希望する時点で提出してください。

(2)兼務が可能であるのは、次の組み合わせの場合です。

ア　専任を要する工事　―　専任を要する工事

イ　主任技術者の専任を要する工事　―　主任技術者の専任を要さない工事（専任特例１号の場合のみ）

ウ　監理技術者を配置する工事　―　主任技術者の専任を要さない工事

エ　監理技術者を配置する工事　―　主任技術者の専任を要する工事（専任特例１号の場合のみ）

(3)既に配置している工事の発注者に、兼務することについて内諾を得ること。

(4)本届出書の提出の際に、既に配置している工事の工事内容（官公庁以外の工事は契約書及び工事の内容）を提示すること。

(5)兼務場所欄には地図を貼付するとともに、既に配置している工事と新たに配置する工事の場所を記載し、距離と縮尺を明記すること。別紙でも可。

(6)既に配置している工事と新たに配置する工事が同一場所である場合の地図は不要であり、枠内に「同一場所における兼務」と記載すること。

(7)本届出書を提出し発注者が確認をした後に、既に配置している工事の発注者に対して本届出書の写しを提出すること。

【発注者チェック欄】　①から④まで及び特例の区分ごとに記載の事項を確認

（共通事項）

①　□　既に配置している工事の発注者に兼務することの内諾を得ている。

②　□　新たに配置する工事の工事担当課所に兼務することの内諾を得ている。

③　□　主任技術者・監理技術者の資格要件

④　□　工事実績情報システム（CORINS)登録状況

（専任特例１号関係）

□　法第２６条第３項ただし書第１号ロ及びハに規定する要件（建設業法施行規則第１７条の２及び第１７条の３）を満たす「人員の配置を示す計画書」が添付されている。

（専任特例２号関係）

□　監理技術者補佐の資格要件